

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	BT1611W
会社名	ユニセル株式会社
住所	山口県岩国市日の出町2番1号
担当部門	製造部
電話番号	0827-22-4193
FAX番号	0827-21-2753

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物	
一般名	不織布複合シート	
成分	化審法・安衛法	CAS No.
ポリエチレンテレフタレート	7-1022	25038-59-9
ポリプロピレン	(6)-402	9003-07-0
ポリアミド(ナイロン6)	357	25038-54-4
含水ケイ酸マグネシウム	-	14807-96-6
アクリル酸エステル共重合樹脂	登録済	あり

3. 危険有害性の要約

分類の名称	該当しない
危険性・有害性・環境影響	シートとしての知見、データなし

4. 応急措置

目に入った場合	清浄な水で充分洗眼し、眼科医の診断を受ける
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、可能であれば指を喉に差し込んで嘔吐させるか、医療処置を受ける

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末、泡の消火剤が有効
消火方法	燃焼源を絶ち、水、粉末、泡等の消火器を使用する。

6. 漏出時の処置

集めて焼却または法規に従って埋め立てる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	静電気の発生しやすい物質との摩擦をさける。
保管	高温・多湿及び直射日光の当たる場所に放置しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所または室全体の換気装置及び除電(静電気)装置を設置するのが好ましい。 尚、設備には必ずアースを設置する。
------	--

保護具

保護衣	着用することが好ましい。また、帯電し易い服装は避けること。
-----	-------------------------------

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: シート状物
引火点	: 主成分 300 ~ 400°C(ポリプロピレン)
発火点	: 主成分 400°C以上
爆発特性	: 粉塵爆発性なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
反応性	: 自己反応性なし。
可燃性	: 火点に近接または直火により可燃性有り。
酸化性	: なし

11. 有害性情報

不織布シートとしてのデータ無し。

12. 環境影響情報

400°C以上の高温下で熱分解する。

13. 廃棄上の注意

燃焼屑を含め、産業廃棄物処理業者に委託し、法規に従って処理する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件
直射日光・雨水漏れを避ける。

15. その他の情報

- ① 本情報の内容は当社が現時点で入手できた情報やメーカーの知見に基づいて作成しておりますが、ここに記載のデータあるいは危険。有害性の評価についていかなる保証もするものではありません。
- ② 法令の改正や新しい知見に基づいて改正されることがあります。
- ③ 本情報は専門的な知識と技術を有する人の判断と責任により利用される場合を想定しています。また、本製品を利用される環境は当社の管理範囲外ではありますので、本製品は この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。

以 上



検査報告書

報告書 No.JP/2007/101735

日付:2007年11月02日

1 頁 全 1 頁

御社名 : 新越化成工業株式会社
 試料・サンプル名等 : ユニセル 19.10.4
 御社オーダーNo. :
 測定期間 : 2007/10/25 - 2007/10/30
 サンプル受領日 : 2007/10/22

測定結果は下記の通りであることを証明いたします。

測定結果:

測定項目	単位	結果	測定方法・前処理	測定機器	報告下限値
カドミウム (Cd)	ppm	検出せず	EPA3051A	ICP-OES	1
クロム (Cr)	ppm	検出せず	EPA3051A	ICP-OES	2
水銀 (Hg)	ppm	検出せず	EPA3051A	ICP-OES	5
鉛 (Pb)	ppm	検出せず	EPA3051A	ICP-OES	10
PBBs(ポリブロモビフェニル)					
モノブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ジブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
トリブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
テトラブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ペンタブロモビフェニル	ppm	検出せず	EPA3540C/EPA3541	GC/MS	10
ヘキサブロモビフェニル	ppm	検出せず	/EPA3550C		10
ヘプタブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
オクタブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ノナブロモビフェニル	ppm	検出せず			25
デカブロモビフェニル	ppm	検出せず			25
PBDEs(ポリブロモジフェニル エーテル)					
モノブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ジブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
トリブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
テトラブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ペンタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず	EPA3540C/EPA3541	GC/MS	10
ヘキサブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず	/EPA3550C		10
ヘプタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
オクタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ノナブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			25
デカブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			25

試料構成に偏差があります。

*** 以上 ***

署名 後藤 邦之
 センター長 後藤 邦之
 SGS ファー・イースト・リミテッド
 グリーンテストセンター



JP735199

This Test Report is issued by the Company subject to its General Conditions of Service printed overleaf. Attention is drawn to the limitations of liability, indemnification, and Jurisdictional issues defined therein. The results shown in this test report refer only to the sample(s) tested unless otherwise stated. This Test Report cannot be reproduced, except in full, without prior written permission of the Company.

弊社発行のこの検査報告書は、裏面に明記されたサービスに関する一般的条件に則して発行されます。そこに明記してある弊社の負うべき債務・補償範囲及び司法管轄の項目にご注意下さい。この検査報告書に記載された検査結果は、特別に明記されていない限り、検査したサンプルに関するみの検査結果であります。また、この書面全体の複製以外には、その検査結果の内容に関して、弊社からの文章による事前許可無しには複製を禁じます。

SGS Far East Ltd. Japan Branch
 Green Testing Center

YBP East Tower 12F, 134 Godo-cho Hodogaya-ku Yokohama 240-0005, Japan
 t +81(0) 45 330 1100 f +81(0) 45 330 1108 www.sgsgroup.co.jp / www.sgs.com



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : シリカゲル(ヒシビート、ヒシパール、Sゲル、ヒシゲル、等)混

製造会社名 : 旭硝子エスアイテック株式会社

住所 : 〒808-0027 北九州市若松区北湊町 13 番 1 号

担当部門 : 営業部 営業グループ

電話番号 : 093-761-1136

FAX番号 : 093-771-6161

販売会社名 :

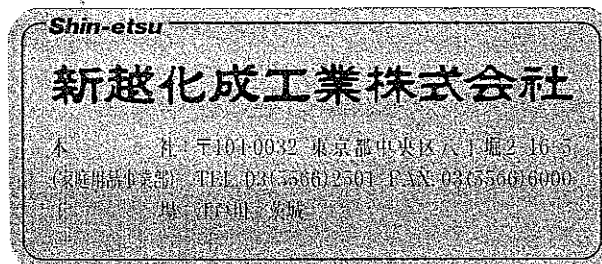
住所 :

担当部門 :

電話番号 :

FAX番号 :

MSDS 整理番号: SG-02-003-05



2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名または一般名 : 二酸化ケイ素および塩化コバルト
(シリカゲル)

成分及び含有量 : SiO₂ 98%以上(強熱残分に対して)
CoCl₂ 0.09% (Coとして0.04%)

化学式又は構造式 : SiO₂, CoCl₂

官報公示整理番号	:	化審法	安衛法	CAS No.
		二酸化ケイ素	1-548	1-548 7631-86-9
		塩化コバルト	1-207	1-207 7646-79-9

危険有害成分 : シリカ

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 珪肺の心配は少ないが、粉塵暴露予防をすること。

健康への有害性 : 非晶質シリカであるので結晶性シリカと比較して、珪肺の心配が
少ない。しかしながら、粉塵吸入を防ぐため別項に示す措置をとること。

環境影響 : 知見なし

物理的及び化学的危険性: この物質自身の発火、爆発の危険性なし。

ただし、樹脂等導電性のない配管、容器等で輸送、貯蔵すると
静電気を帯びることがあるので、周囲で可燃性の物質を扱うとき
は帯電防止対策をとること。

分類の名称(分類基準は日本方式): 該当しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合 :被害者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。口内と鼻腔を水でよく洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
- 皮膚に付いた場合 :青ゲルの成分である塩化コバルトは、皮膚障害をおこす恐れがあるので作業後は温水で洗い、スキンクリームを塗っておくことを推奨する。
- 目に入った場合 :ガラスの破片同様とがったものがあるため、傷つきやすいので慎重に清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、痛みが残る場合は眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 :水でよく口の中を洗浄する。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

- 消火方法 :不燃物につき該当しない。
- 消火剤 :不燃物につき該当しない。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項:作業の際には保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項:報告例なし。
- 除去方法 :滑らないように注意して掃きとる。
または掃除機で吸いとりなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。この際、風下では作業しない。
水に直接触れると細かく割れ飛散するので適切な保護具を着用する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :1.適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
2.静電気放電に対する予防措置を講ずる。
3.室内で取り扱う場合は、十分換気を行うか、局所排気装置を使用する。
4.加熱すると微量であるが、シリカゲル青から有毒ガスが発生する可能性があるため、十分換気を行うか、局所排気装置を使用し、発生ガスを吸入しないこと。
5.こぼれた場合、すべりやすいので速やかに回収する。
6.保管、輸送、取扱いに対しては水分吸着に注意する。

保 管

- 適切な保管条件:密閉して涼しくて換気の良い場所に直射日光や雨水を避けて貯蔵する。
品質保持のため、湿度の高い場所や有機ガスが存在する場所には貯蔵しない。
- 安全な容器包装材料:製品の飛散を防止するために、容器の破損等に注意する。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 :極力、粉塵が発生しないようにする。局所排気を行う。
- 管理濃度: 未設定
- 許容濃度: (SiO₂ として)
日本産業衛生学会(1992年度版):第3種粉塵 吸入性 2mg/m³
総粉塵 8mg/m³ (Total dust)
ACGIH(1991 年度版):TLV-TWA 10mg/m³ (Total dust)
- 保護具 :呼吸用保護具 防塵マスクを着用する。
眼の保護具 保護眼鏡、ゴーグル等を着用する。
手の保護具 ゴム手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具 長袖の作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状 : 球状ないし粒状
色 : 白色粒と青色粒の混合
臭い : 無臭
pH : 4~7 (5%水スラリー)
比重 : 0.6~1.0g/ml

物理的状態が変化する温度 (SiO₂)

沸 点 : 2230 °C
融 点 : 1726 °C
引火点 : なし
発火点 : なし
爆発性 : なし

溶解性

水 : 水に対して120ppm (25°C)
シリカゲルは強アルカリ、フッ化水素酸に溶解する。
シリカゲル中の塩化コバルトは水に溶出する。
その他の溶媒 : シリカゲル中の塩化コバルトはアルコール、アセトンに溶出する。

その他の情報 : シリカゲル中の塩化コバルトは、空气中 400°C で長時間加熱すると分解する。塩化水素気体中 500°C で昇華する。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の状態では安定である。

空气中で 400°C で長時間加熱すると塩化コバルトが分解する。

吸湿すると青から淡赤色に変色する。

反応性 : 強アルカリ、フッ酸に接触すると溶解する。

避けるべき条件 : 強アルカリとフッ酸との接触。水と接触すると破砕する可能性がある。

危険有害分解生成物 : 塩化水素ガス

11. 有害性情報

〈SiO₂ の情報〉

急性毒性 (50% 致死量を含む) : 経口 ラット及びマウス LD₅₀ 4500mg/Kg 以上
局所 (皮膚・眼) 影響 : 付着すると皮膚面の水分を吸着して皮膚表面を乾燥させる。

感作性 : 知見なし。

反復投与毒性 : 知見なし。

慢性・長期毒性 : 陰性。

変異原性 : 知見なし。

発ガン性 : IARC 分類 : Group 3 (人に対する発がん性については分類できない)

日本産業衛生会、OSHA、NTP いずれも記載なし。

生殖発生毒性 : 知見なし。

その他 : 一般的に不活性な粉塵であっても、多量の粉塵を吸入したり、工業的に多量に取り扱う作業に長期間従事したとき、呼吸器への蓄積による障害の原因となる場合がある。取扱い時には適当な呼吸保護具の着用を薦める。

注) LD₅₀ (50% Lethal Dose) 検体を試験動物に投与した時の 48 時間の死亡率 50%
である時、動物の体重 1kg 当りの投与量。

12. 環境影響情報

移動性 : 知見なし。

残留性/分解性:知見なし。
生体蓄積性 魚毒性:知見なし。
その他:知見なし。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄の際は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「水質汚濁防止法」等関係法令を遵守し、適切な廃棄処理業者に委託する。

容器: 完全に内容物を除去して、空容器は適切な廃棄処理業者に委託する。

14.輸送上の注意

国連分類及び国連番号	:	分類	番号
		二酸化ケイ素	該当せず
		塩化コバルト	6.1 3288

国内規制 : 航空法、船舶安全法等に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。

輸送の特定の安全対策および条件:

- ①容器が破損、転倒、落下しないよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ②水漏れに注意する。

15.適用法令

消防法(危険物)	: 規制なし。
労働安全衛生法(表示物質): 第 57 条の 2 別表第 9 政令番号 311 号シリカ	
毒物及び劇物取締法(毒劇物)	: 該当なし。
化学物質管理促進法(PRTR 法)	: 該当なし(Co として 1% 以下のため)

外国為替及び外国貿易管理法、輸出貿易管理令、別表第 1 の 16 項に掲げる貨物に該当するので、輸出の際に許可申請要件(客観要件、インフォーム要件)に該当する場合は輸出許可が必要である。

16.その他の情報

・記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。製品の譲渡時には MSDS を添付してください。

・改定内容

2006. 11 JIS2000年版様式対応

・製品に関するお問い合わせ先

連絡先部門 : 旭硝子エスアイテック株式会社 営業部 営業グループ
電話番号 : 093-761-1136

作成日 1993 年 4 月 12 日

改定日 2006 年 12 月 1 日

FAX 番号 : 093-771-6161

・MSDS の内容に関するお問い合わせ先

連絡先部門 : 旭硝子エスアイテック株式会社 品質保証センター 品質保証グループ

電話番号 : 093-761-1203

FAX 番号 : 093-771-8619



検査報告書

報告書 No. JP/2007/101730

日付: 2007年11月02日

1 頁 全 1 頁

御社名 : 新越化成工業株式会社
 試料・サンプル名等 : シリカゲル
 御社オーダーNo. :
 測定期間 : 2007/10/25 - 2007/10/30
 サンプル受領日 : 2007/10/22

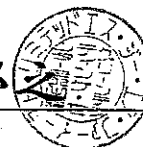
測定結果は下記の通りであることを証明いたします。

測定結果:

測定項目	単位	結果	測定方法・前処理	測定機器	報告下限値
カドミウム (Cd)	ppm	検出せず	EPA3052	ICP-OES	1
クロム (Cr)	ppm	検出せず	EPA3052	ICP-OES	2
水銀 (Hg)	ppm	検出せず	EPA3052	ICP-OES	5
鉛 (Pb)	ppm	検出せず	EPA3052	ICP-OES	10
PBBs (ポリブロモビフェニル)					
モノブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ジブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
トリブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
テトラブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ペンタブロモビフェニル	ppm	検出せず	EPA3540C/EPA3541	GC/MS	10
ヘキサブロモビフェニル	ppm	検出せず	/EPA3550C		10
ヘプタブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
オクタブロモビフェニル	ppm	検出せず			10
ノナブロモビフェニル	ppm	検出せず			25
デカブロモビフェニル	ppm	検出せず			25
PBDEs (ポリブロモジフェニル エーテル)					
モノブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ジブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
トリブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
テトラブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ペンタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず	EPA3540C/EPA3541	GC/MS	10
ヘキサブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず	/EPA3550C		10
ヘプタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
オクタブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			10
ノナブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			25
デカブロモジフェニル エーテル	ppm	検出せず			25

*** 以上 ***

署名 後藤 邦之
 センター長 後藤 邦之
 SGS ファー・イースト・リミテッド
 グリーンテストセンター



JP 735194

This Test Report is issued by the Company subject to its General Conditions of Service printed overleaf. Attention is drawn to the limitations of liability, indemnification, and Jurisdictional issues defined therein. The results shown in this test report refer only to the sample(s) tested unless otherwise stated. This Test Report cannot be reproduced, except in full, without prior written permission of the Company.

弊社発行のこの検査報告書は、裏面に明記されたサービスに関する一般的条件に則して発行されます。そこに明記してある弊社の負うべき債務・補償範囲及び司法管轄の項目にご注意下さい。この検査報告書に記載された検査結果は、特別に明記されていない限り、検査したサンプルに関してのみの検査結果であります。また、この書面全体の複製以外には、その検査結果の内容に関して、弊社からの文章による事前許可無しには複製を禁じます。